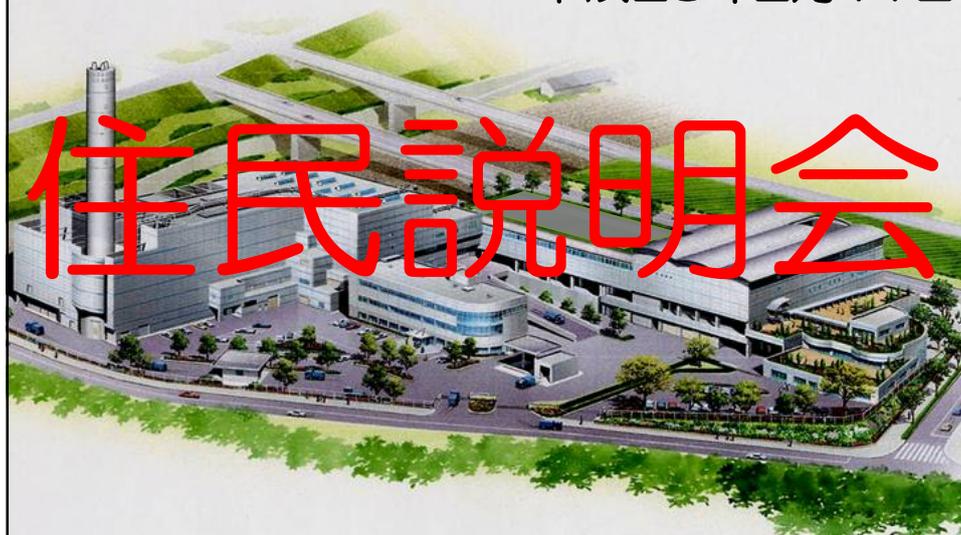


多摩ニュータウン環境組合

平成28年2月11日



事務局長あいさつ

職員紹介

- 多摩ニュータウン環境組合
 - 會田事務局長
 - 芳野総務課長
 - 諸星施設課長

- 構成市
 - 八王子市 諸角資源循環部長
 - 町田市 小島環境資源部長
 - 多摩市 浦野環境部長

3

ごみ処理区域再編検討状況について
皆さんの費用負担を増やさないごみ量
平成28年2月11日



多摩ニュータウン環境組合

～ 本日本お伝えしたいこと ～

- 第1 現工場の規模とごみ処理量
建設時予測と現状について
- 第2 市民の皆さんの費用負担を増やさない
著しく工場の機能を損なわないごみ量
54,000 t /年以上
- 第3 多摩清掃工場の将来予測

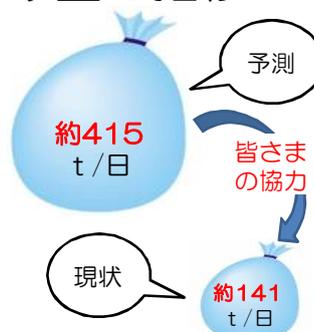
現工場の規模とごみ処理量 建設時予測と現状について

建設当時に計画した平成20年度<<区域内人口と処理量>>

- **平成6年度の計画** <<目標年次：平成20年度>>
人口：**321,059人** 計画処理量：**約 415 t /日** (151,475 t /年)
200t/日×3炉を予定（最初に2炉、次に残りの1炉を建設）
- **平成10年度の計画** <<目標年次：平成20年度>>
人口：**311,400人** 計画処理量：**約 345 t /日** (125,925 t /年)
残り1炉の建設を凍結（家庭ごみの有料化や容り法等を考慮）
- **平成20年度の実績**
人口：**248,638人** 実績処理量：**約 152 t /日** (55,480 t /年) 63%減
- **現状は過大な清掃工場**

ごみ減量の取り組みとごみ量の推移

年度	ごみ減量に係る取組
H12	多摩市 : ダストボックスの廃止
H16	八王子市 : 家庭系ごみの有料化
H17	町田市 : 家庭系ごみの有料化
H20	多摩市 : 家庭系ごみの有料化 プラスチックの資源化
H22	八王子市 : プラスチックの資源化
H25	多摩市 : 金属・小型家電の資源化



多摩ニュータウン区域の人口の伸び悩み

市民の皆さんによるごみ減量の協力

平成26年度実績 人口：257,400人 処理量：51,465t/年

平成34年度予測 人口：261,491人 処理量：46,645t/年

2

将来予測されるごみ量(46,000 t/年)の影響について

- 1 温水プール・総合福祉センターへの余熱供給ができない
⇒ 117日停止となり、1,170万円の負担
《1日約10万円》
- 2 売電収入 < 運転経費
⇒ 《年間約3,000万円の負担増》
- 3 収集車両の通行量減少

3

費用負担の考え方について

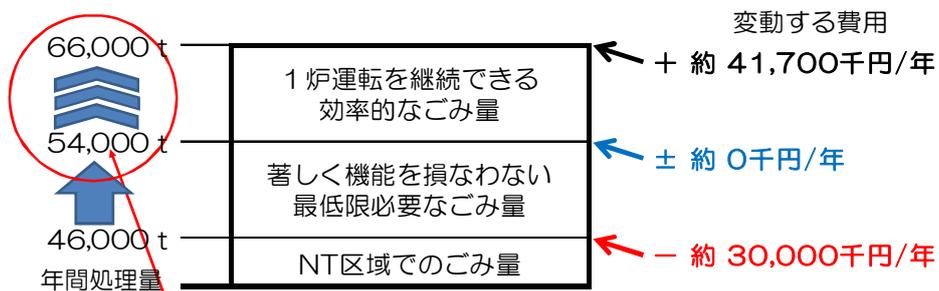


市民の皆さんの費用負担を増やさないため
著しく工場の機能を損なわないごみ量

年間 54,000 t 程度以上必要

4

処理区域を再編する理由



処理区域を再編して最低確保したいごみ量

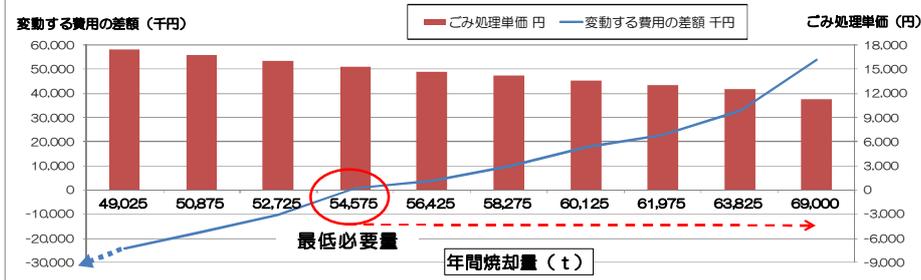
5

ごみ量で変わる発電収益の分岐点

ごみ量により変動

$$\text{売電} \geq \text{買電} \cdot \text{ガス} \cdot \text{上下水道} \cdot \text{薬品} \cdot \text{灰運搬}$$

年間焼却量	t	49,025	50,875	52,725	54,575	56,425	58,275	60,125	61,975	63,825	69,000
日焼却量	t/日	185	185	185	185	185	185	185	185	185	200
1 炉運転	日	265	275	285	295	305	315	325	335	345	345
2 炉停止	日	100	90	80	70	60	50	40	30	20	20
売電収入	千円	115,000	120,000	125,000	134,000	135,000	139,000	145,000	148,000	155,000	184,000
買電・ガス・上下水 薬品・灰運搬費	千円	139,295	137,283	135,270	133,258	131,245	129,232	127,220	125,207	122,194	130,048
変動する費用の差額	千円	-24,295	-17,283	-10,270	742	3,755	9,768	17,780	22,793	32,806	53,953
ごみ処理単価	円	17,456	16,684	15,965	15,222	14,670	14,101	13,534	13,049	12,514	11,269



6

処理区域を再編しても現状より増えない量

～ 市民の皆さまの負担を増やさない ～

著しく機能を損なわない最低限必要量：54,000 t/年



年間処理量

7

多摩清掃工場の将来予測

延命化工事（H26～28）を行い平成44年ごろまで稼働

新工場建設時

区域再編したごみ量

現状より小さい工場

最近の動向

- 民間企業の一般ごみ処理事業への参入
- 技術革新により生ごみの処理の変化
- 行政と市民の新たな減量の取組

更にごみ減量

建て替え時は
様々な検討

8

質疑応答

14

事務局長あいさつ

15

ご清聴ありがとうございました。

16

地元報告会について

- 日時 平成28年3月26日(土)
午後5時から
- 場所 多摩ニュータウン環境組合
リサイクルセンター2階 多目的室
- 内容
平成27年度多摩清掃工場の運営について
平成28年度予算概要について
平成28年度の事業予定について

17